

【第34号】

平成28年 6月24日

相双建設事務所

復旧復興だより



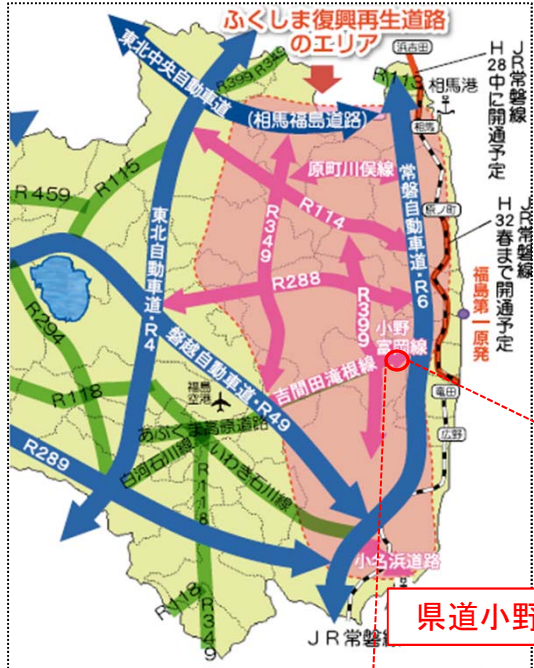
事務所イメージキャラクター

(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆小野富岡線の五枚沢1工区(バイパス区間)が開通。

県では、避難指示区域などの物流や医療、産業の再生を支えるため、主要な幹線道路を「ふくしま復興再生道路」と位置付け重点的に整備しています。このうち当事務所では、県道小野富岡線の線形が悪く、幅員が狭い区間を五枚沢工区として整備を進めてきたものであり、6月20日(月)に鍋倉トンネルを含むバイパス区間540mを開通することができました。

今回の開通により、避難指示区域の復興が加速し、住民の帰還が一層進むことが期待されます。引き続き、残る区間の工事を迅速に進め、平成30年代前半の事業完了を目指してまいります。



【ふくしま復興再生道路】

国道114号
国道288号
国道349号
国道399号
県道原町川俣線
県道小野富岡線
県道吉間田滝根線
小名浜道路



開通式典の様子(6月20日)



開通後の車両通行状況

県道小野富岡線 五枚沢工区



新田吾沢橋



鍋倉トンネル



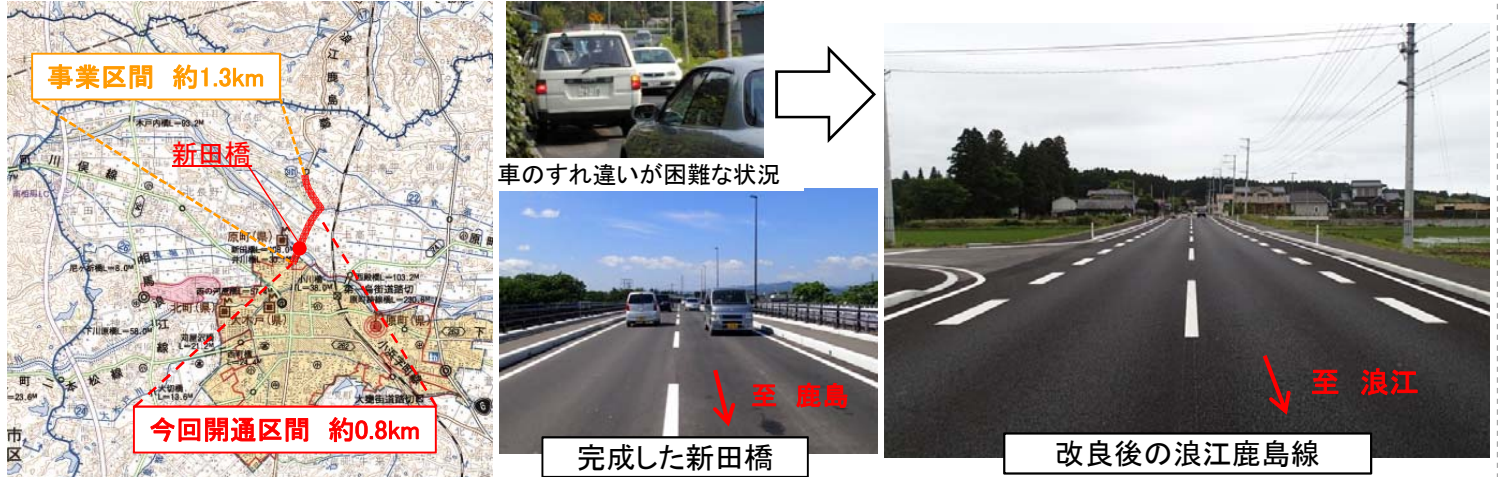
毛戸橋

工事監督員の声 (道路課・猪狩主査)
 安全な工事監理に努め、バイパス区間を無事、完成することができました。工事にご協力いただいた地元の方々などに、改めて感謝申し上げます。今回の開通が地域の早期復興の一助となれば幸いです。

◆浪江鹿島線・上北高平工区の新田橋が開通しました。

当事務所では、合併市町村における地域間の連携強化を支援する道路整備に取り組んでいます。このうち、県道浪江鹿島線の南相馬市原町区上北高平地内では、幅員が狭く、急カーブの区間（約1.3km）を解消するため、これまで道路の拡幅工事を進めてきたものであり、このたび、新田橋を含む約0.8kmを開通することができました。

今回の工事では、道路の拡幅にあわせ、歩行者等の安全にも配慮し、道路の両側に歩道を設置しています。残る区間についても、今後、速やかに事業を進め、一日も早い工事完成を目指してまいります。



◆日下石川、梅川の堤防復旧工事が完了しました。

当事務所では、新地町から双葉町にかけて、震災で被害を受けた河川堤防を復旧しています。このうち、相馬市内の日下石川（約1.6 km）、梅川（約2.4 km）の工事を完了することができました。

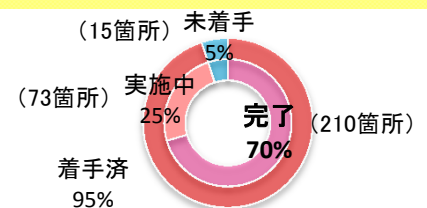
今回の工事は、被災護岸の復旧と同時に、被害の大きかった河口部について、地震で沈下した堤防のかさ上げ（約0.6 m～約1 m）もあわせて実施しています。このほかの箇所についても、一日も早く堤防工事を完了させ、災害に強く、安全で安心できる生活環境を確保してまいります。



◆東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況(平成28年5月末)

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

(帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。)



○次回は、「ふくしま復興再生道路(原町川俣線)の整備状況」をお伝えする予定です。

(事業の進捗状況等により変更する場合があります)

